



2007年度

中間決算説明会

第84期: 中間期(平成19年4月1日~9月30日)

2007.11.13

太平洋互業株式会社

一滴のしずくが川の流れとなり、太平洋に注ぎ雲を呼び雨となる。

1930年、2gのバルブコアで創業した当社も事業の幅を広げ、今では海外に5カ国9会社を持つまでに成長した。

四位一体でのものづくり・ひとづくりをベースに地球環境保全に努め、開発型企业として世界に貢献していきたい。



目次

1. 会社の概要・企業理念
2. 2007年度 連結・個別業績
3. 中期経営計画

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概要

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 43億2千万円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業			情報 サービス	合計	
事業		P	V	C	T			
事業		P	V	C	T			
単 独	売上高('07予想)	453億円 65%	56億円 8%	55億円 8%	136億円 19%	—	700億円	
	人 員	1,040人			470人			1,620人
	主要工場	西大垣、東大垣 養老、九州	美濃、北大垣	北大垣	北大垣	—	国内6工場	
連 結	売上高('07予想)	622億円 70%	258億円 29%			7億円 1%	887億円	
	人 員	1,810人			850人			2,870人
	海外生産拠点	台湾、米国 中国	台湾、韓国、米国 タイ	中国、韓国	—		5ヶ国 7会社	
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ デンソー、豊田自動織機 松下電器	ブリヂストン、横浜ゴム 住友ゴム、東洋ゴム 韓国タイヤ、正新 ミシュランタイヤ	デンソー、豊田自動織機 三菱電機、松下電器 東芝、シャープ、ダイワ精工 LG電子、海爾	トヨタ ホンダ 日産		太平洋工業 地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ バルブコア	空調用制御弁		TPMS	ゴルフ場 人材派遣 油脂販売 ソフトウェア	

1-2 企業結合の状況

1. 連結会社：11社

■ プレス樹脂製品事業 ■ バルブ製品事業

区分	会社名	事業分野				主な事業内容	設立	議決権比率	'07 売上高 予想	人員	
		P	V	C	情報・サービス						
国内	ピーアイシステム株式会社 (PSC)				●	情報処理、ソフト開発・販売	1987年	100%	6億円	56人	
	太平洋開発株式会社 (PDC)				●	ゴルフ場資産管理(養老CC)	1972年	66.1%	3億円	29人	
	太養興産株式会社 (TYC)				●	ゴルフ場運営(養老CC)	2005年	(PDC) 100%	—	—	
	太平洋産業株式会社 (TSC)				●	SS経営、保険代理業務、人材派遣業	1974年	98.7%	11億円	12人	
	国内連結会社 計								21億円	97人	
海外	米国	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)				下記米国会社の統括管理	1988年	100%	—	—
		Pacific Manufacturing Ohio Inc. (PMO)	●	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1999年	(PIU) 100%	217億円	471人
	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 (PVT)	●	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1984年	99.2%	38億円	223人
	韓国	太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●	●		バルブ関連製品の製造・販売	1987年	99.5%	15億円	83人
		太平洋エアークントロール工業株式会社 (PAC)			●		カーエアコン部品の製造	2004年	(PVI 40%) 60%	(非連結)	11人
	タイ	Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd. (PIT)		●			バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	12億円	102人
	中国	青島太平洋宏豊精密機器有限公司 (QPH)			●		空調用バルブ関連製品の製造・販売	2000年	55%	8億円	167人
		天津太平洋汽車部件有限公司 (TPA)	●				自動車用プレス製品の製造・販売	2005年	100%	9億円	104人
海外連結会社 計								302億円	1,161人		

2. 持分法適用会社：2社

国内	太平洋精工株式会社 (PEC)	●		●		オートフーズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	20%	127億円	284人
海外(米国)	Takumi Stamping Inc. (TSI)	●				自動車用小物プレス製品の製造・販売	2001年	48%	43億円	260人

1-3 企業理念・経営理念

企業理念

わが社はメーカーとして、

1. 技術開発に努め、お客様の要望に応えた高いレベルの商品を提供していきます。

→ **品質理念**

2. 人間尊重を基本に、社員が“働く楽しみ”、“造る満足”を得る“場”を提供していきます。

3. 地球環境保全に努め、社会から期待される“良い会社”でありつづけます。

→ **環境理念**

経営理念

オープンでクリエイティブな経営
e-companyの実現

- engineering : 技術を売り物に
- ecology : 環境に配慮し
- e-business : eビジネス
- emotional : 活かに溢れ
- efficiency : 効率的に仕事をし
- enrich : 収益を確保しながら
- enjoy : 豊かな生活を楽しむ

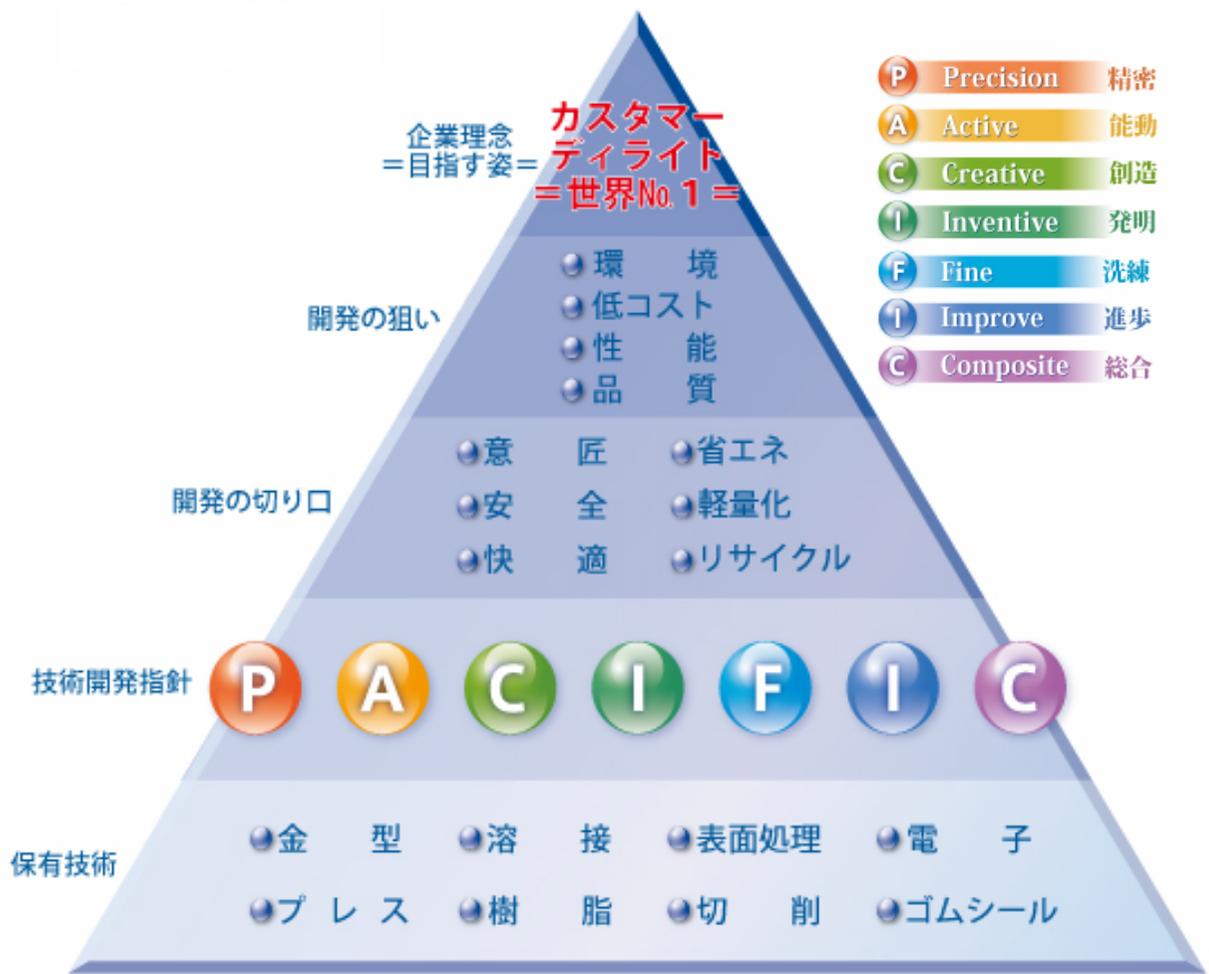
1-4 技術開発・ものづくりの理念

技術開発

カスタマーデライトを理念に、
技術開発指針を策定

ものづくり

“ものづくり”は“人づくり”を理念に
技術と技能の両輪でものづくりを行う



四位一体のものづくり

一人一人の総合力アップ

TPS : 人・仕組みの効率
 TPM : 設備の効率
 TQM : 品質・管理の効率
 ISO : 情報の効率

2-1 中間決算サマリー

		利益率	前期比
■ 連結売上高:	431億円		(8%増)
■ 連結営業利益:	15億円	3.5%	(25%減)
■ 連結経常利益:	17億円	4.1%	(17%減)
■ 連結中間純利益:	11億円	2.7%	(16%減)

<売上高>

プレス・樹脂事業は主要顧客の車種構成の変化や米国子会社の業容拡大、バルブ製品事業はTPMSの搭載車種の拡大等により増収。

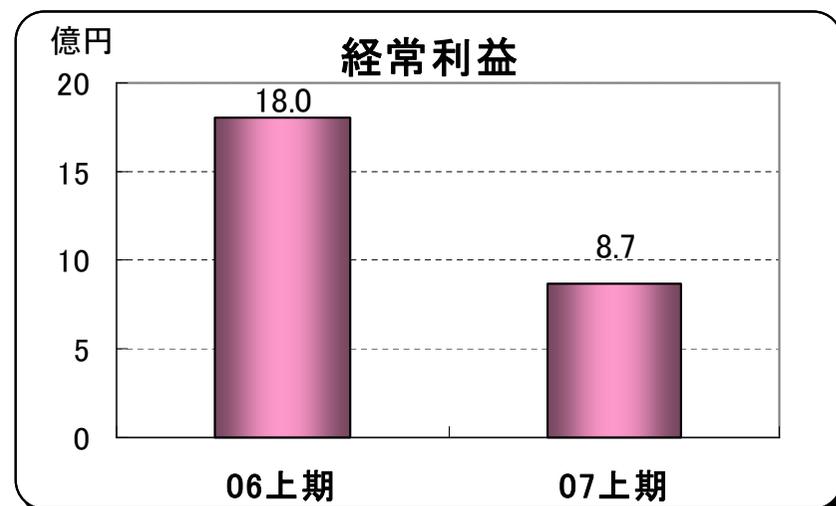
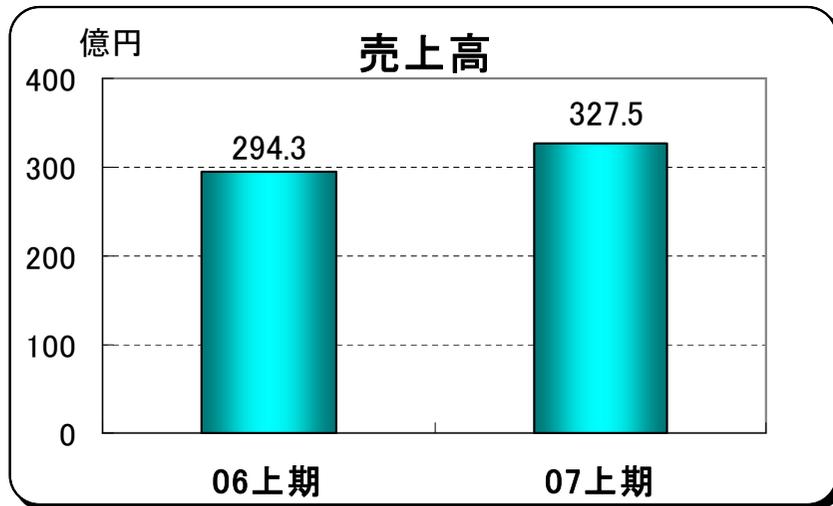
<利益>

大型投資・税制改正による減価償却費の増加・原材料高騰および品質保証コストにより減益。

2-2 中間 個別業績の対前年同期比較

(百万円、%)

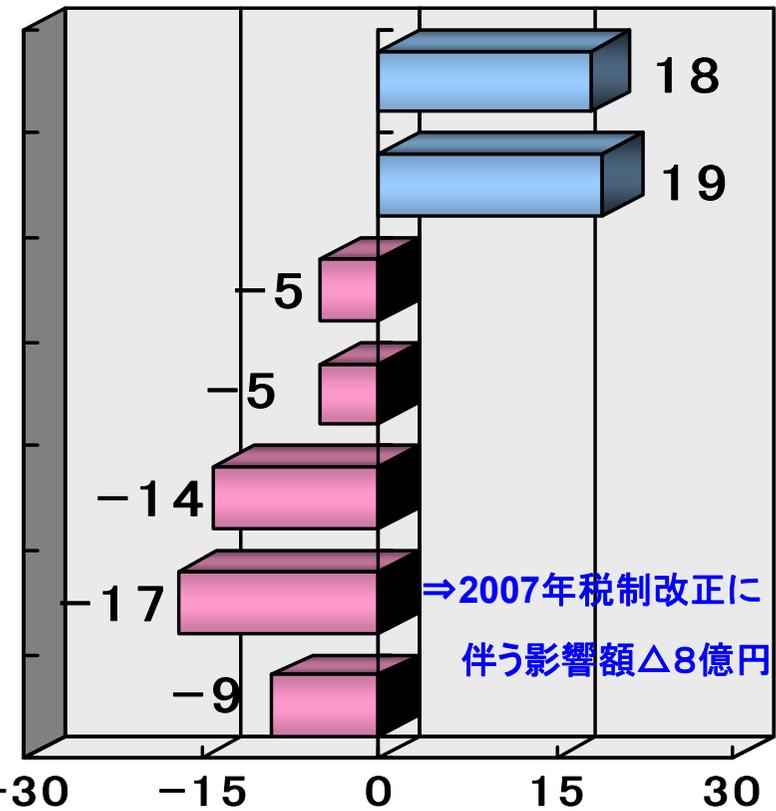
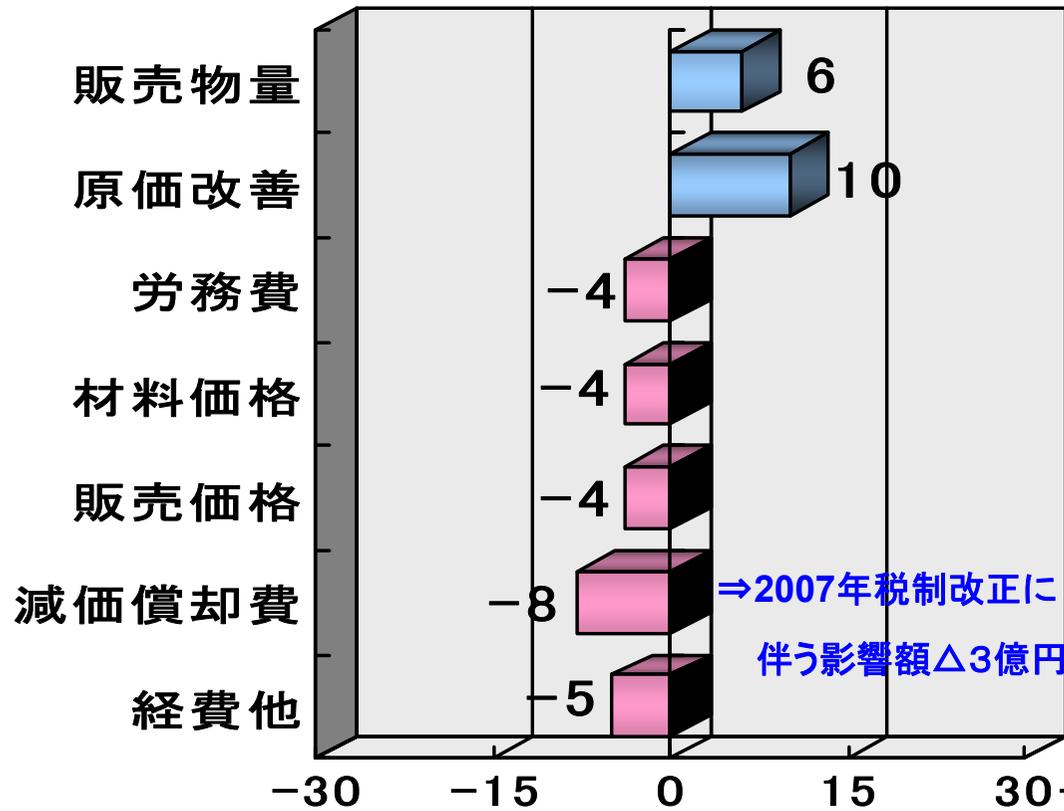
	前中間期	当中間期				前中間期比		
		7/31 前回予想値	実績	前回予想比		増減	増減率	
				増減	増減率			
売上高	29,433	34,000	32,759	△1,241	△3.7	3,325	+11.3	4期連続増収 過去最高
営業利益	1,495 5.1%	1,000 2.9%	585 1.8%	△415	△41.5	△909	△60.8	4期振りの減益
経常利益	1,802 6.1%	1,400 4.1%	874 2.7%	△526	△37.6	△927	△51.5	4期振りの減益
中間純利益	1,076 3.7%	850 2.5%	581 1.8%	△269	△31.6	△494	△46.0	2期振りの減益



2-3 個別經常利益增減要因

《07上期 対 06上期》
經常利益 $\Delta 9$ 億円

《07年度予想 対 06年度》
經常利益 $\Delta 13$ 億円

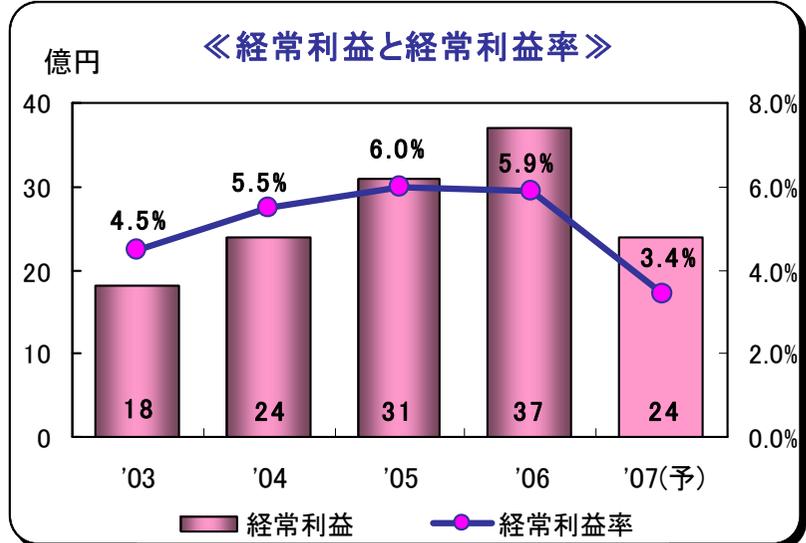
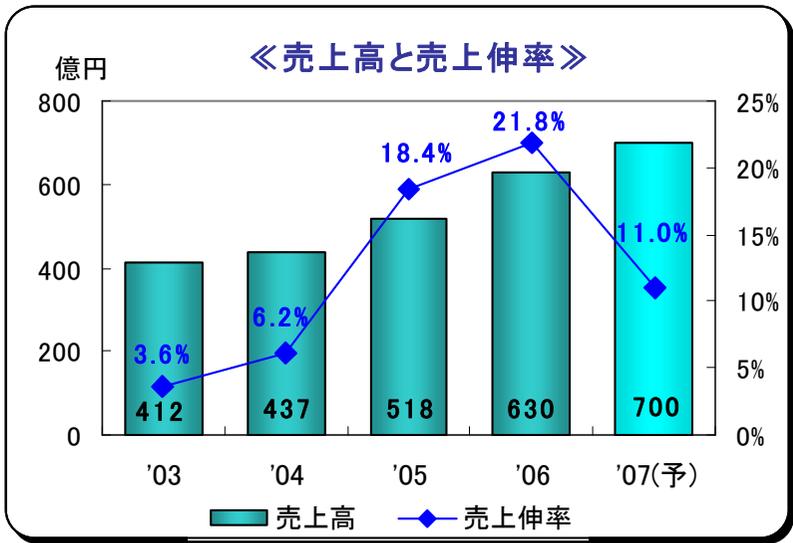


(億円)

2-4 通期 個別業績予想

	'05	'06	'07 (7/31予想)	'07 (今回予想)	* 過去最高値		[百万円]	
					前回予想比		前期比	
					増減	増減率	増減	増減率
売上高	51,810	* 63,090	71,000	* 70,000	△1,000	△1.4	6,909	+11.0
営業利益	2,465	* 2,883	2,300	1,800	△500	△21.7	△1,083	△37.6
経常利益	3,104	* 3,733	3,000	2,400	△600	△20.0	△1,333	△35.7
当期純利益	780	2,240	1,800	1,400	△400	△22.2	△840	△37.5
配当金(1株当り)	8円	10円	10円	10円	—		—	
売上利益率	6.0%	5.9%	4.2%	3.4%	△0.8%		△2.5%	
ROE	2.2%	5.8%	4.5%	3.5%	△1.0%		△2.3%	
ROA	4.4%	4.5%	3.2%	2.6%	△0.6%		△1.9%	
一株当たり純資産(円)	699	744	747	743	△4		△1	

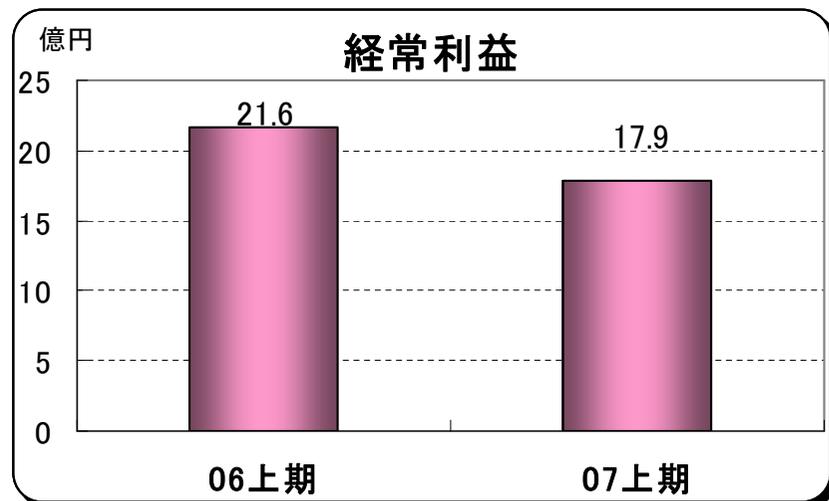
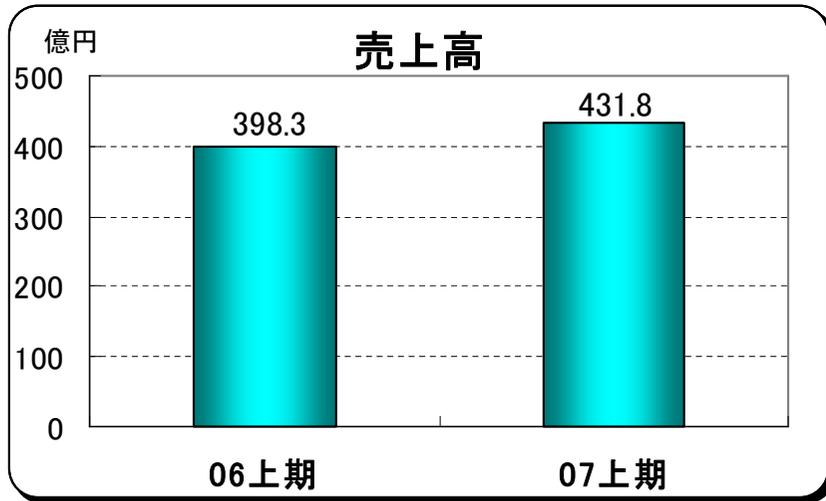
6期連続の増収
6期振りの減益
6期振りの減益
2期振りの減益



2-5 中間 連結業績の対前年同期比較

(百万円、%)

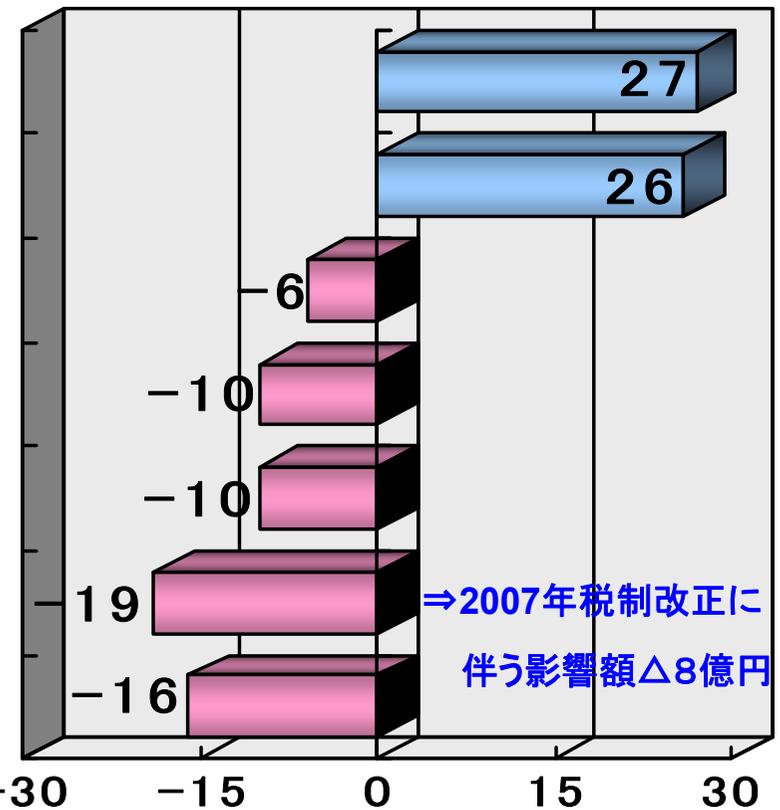
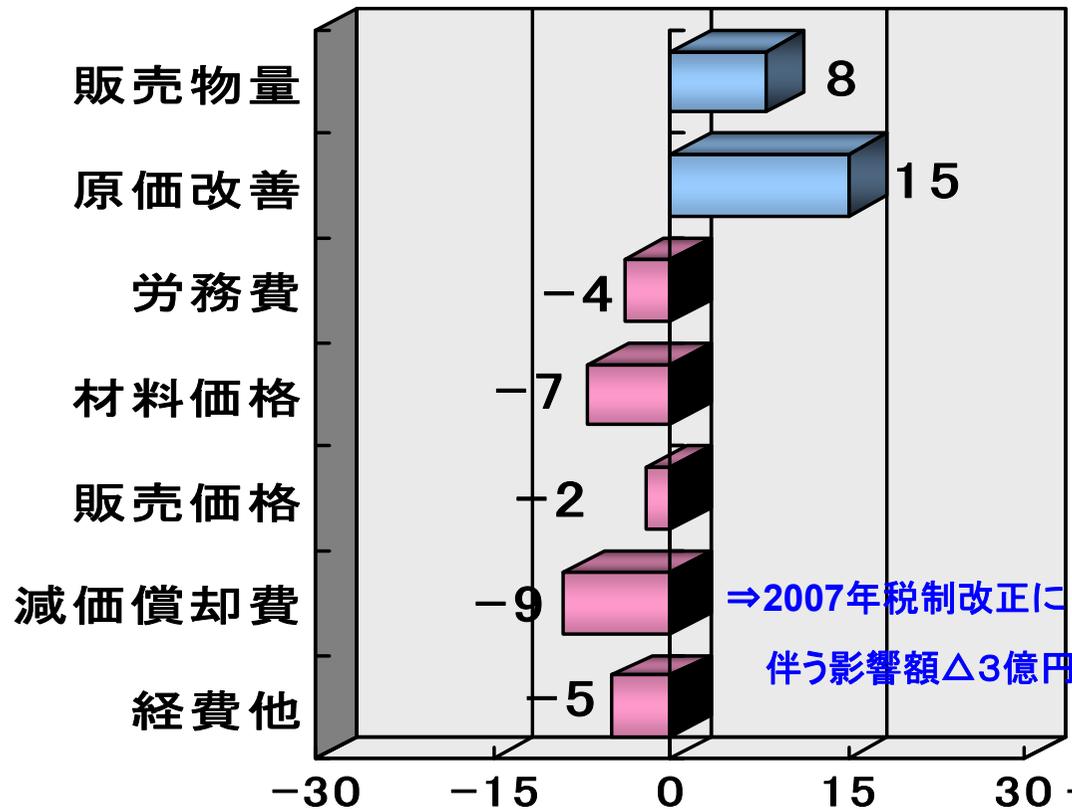
	前中間期	当中間期				前中間期比		
		7/31 前回予想値	実績	前回予想比		増減	増減率	
				増減	増減率			
売上高	39,830	44,000	43,184	△816	△1.9	3,353	+8.4	6期連続増収 過去最高
営業利益	1,994 5.0%	1,750 4.0%	1,501 3.5%	△249	△14.2	△492	△24.7	4期振りの減益
経常利益	2,164 5.4%	2,100 4.8%	1,791 4.1%	△309	△14.7	△373	△17.2	4期振りの減益
中間純利益	1,374 3.5%	1,200 2.7%	1,157 2.7%	△43	△3.6	△217	△15.8	2期振りの減益



2-6 連結経常利益増減要因

《07上期 対 06上期》
 経常利益 Δ 4億円

《07年度予想 対 06年度》
 経常利益 Δ 8億円



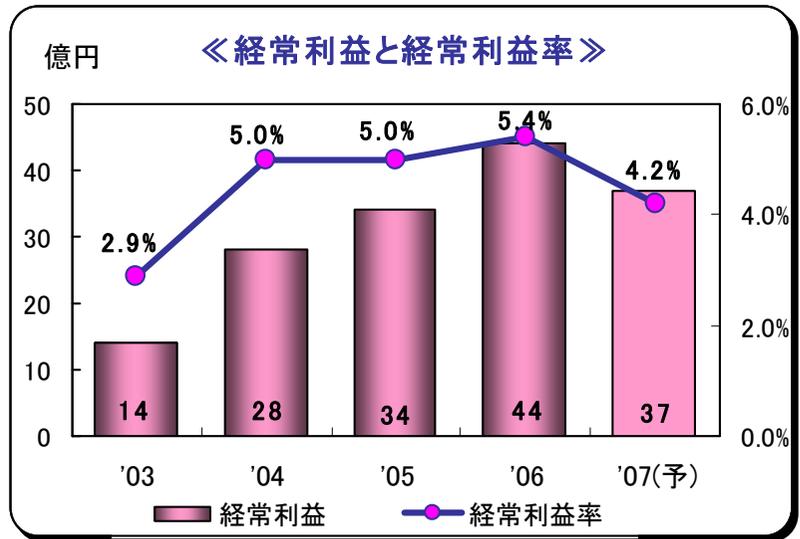
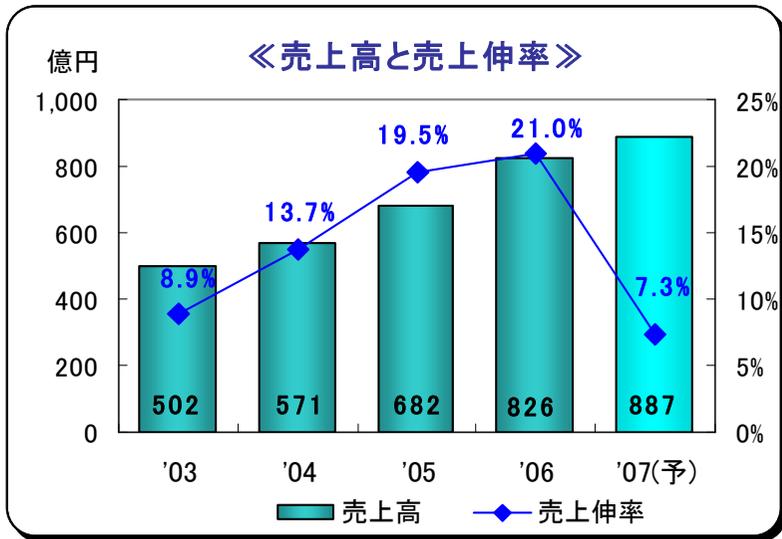
(億円)

2-7 通期 連結業績予想

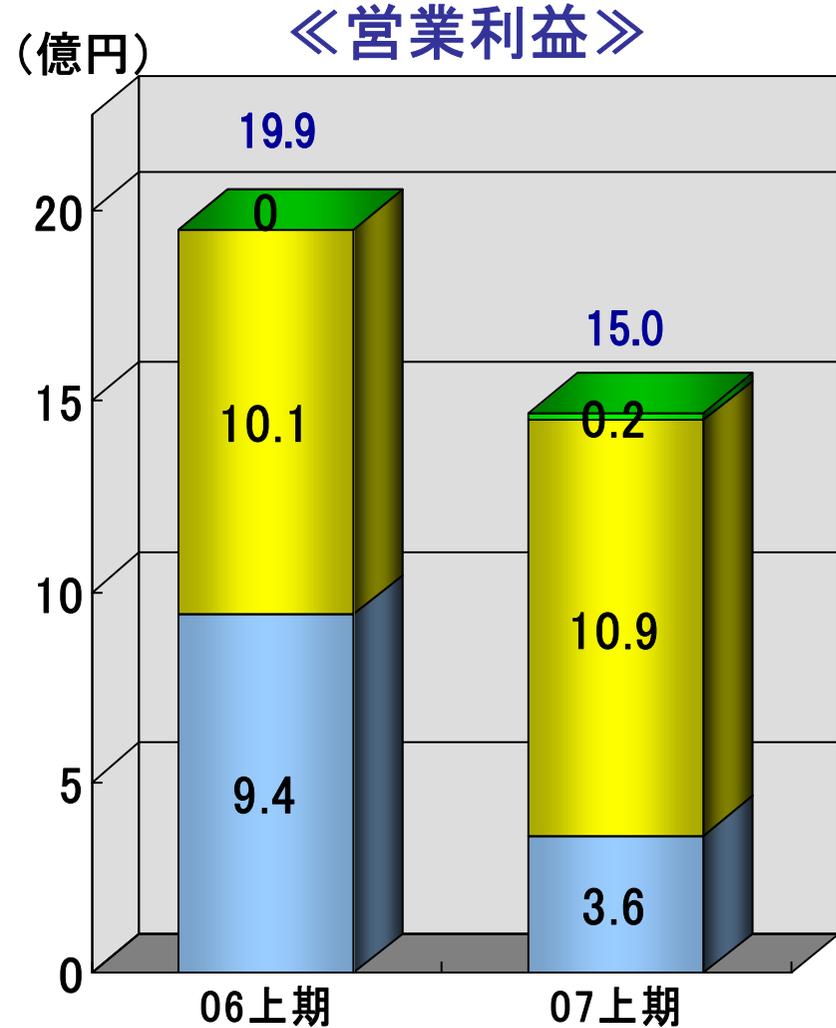
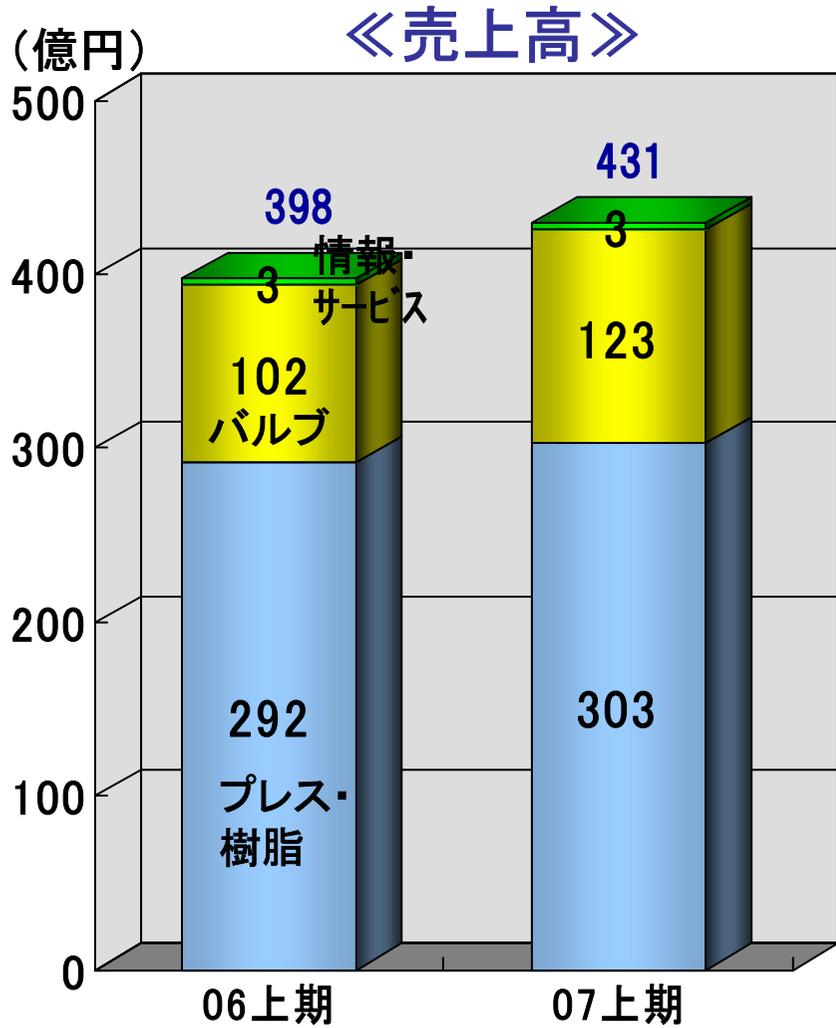
*過去最高値 [百万円]

	'05	'06	'07 (7/31予想)	'07 (今回予想)	前回予想比		前期比		連単 倍率
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	68,277	*82,641	89,300	*88,700	△600	△0.7	6,058	+7.3	1.3
営業利益	3,096	*3,902	3,400	3,100	△300	△8.8	△802	△20.6	1.7
経常利益	3,439	*4,475	4,000	3,700	△300	△7.5	△775	△17.3	1.5
当期純利益	1,147	3,144	2,400	2,350	△50	△2.1	△794	△25.3	1.7
売上利益率	5.0%	5.4%	4.5%	4.2%	△0.3%		△1.2%		
ROE	3.2%	7.6%	5.5%	5.4%	△0.1%		△2.2%		
ROA	4.2%	4.8%	4.0%	3.7%	△0.3%		△1.1%		
一株当たり純資産(円)	736	806	835	834	△1		28		

9期連続の増収
4期振りの減益
4期振りの減益
2期振りの減益



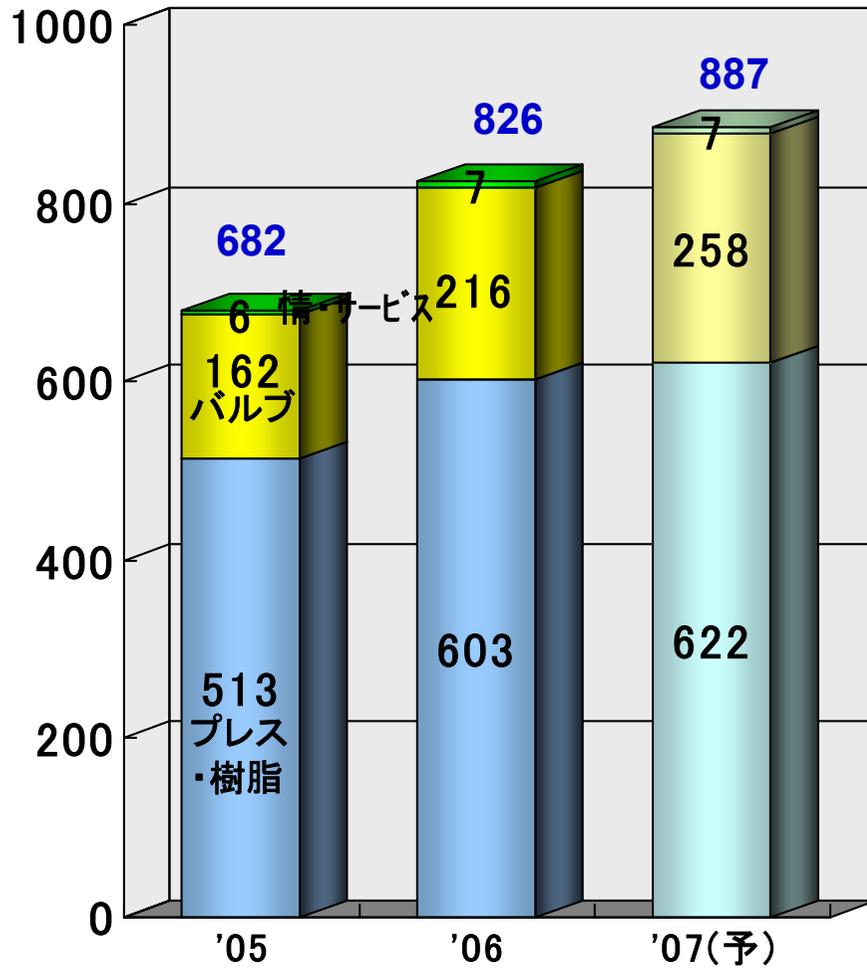
2-8 中間 連結事業別セグメント



2-9 通期 連結事業別セグメント

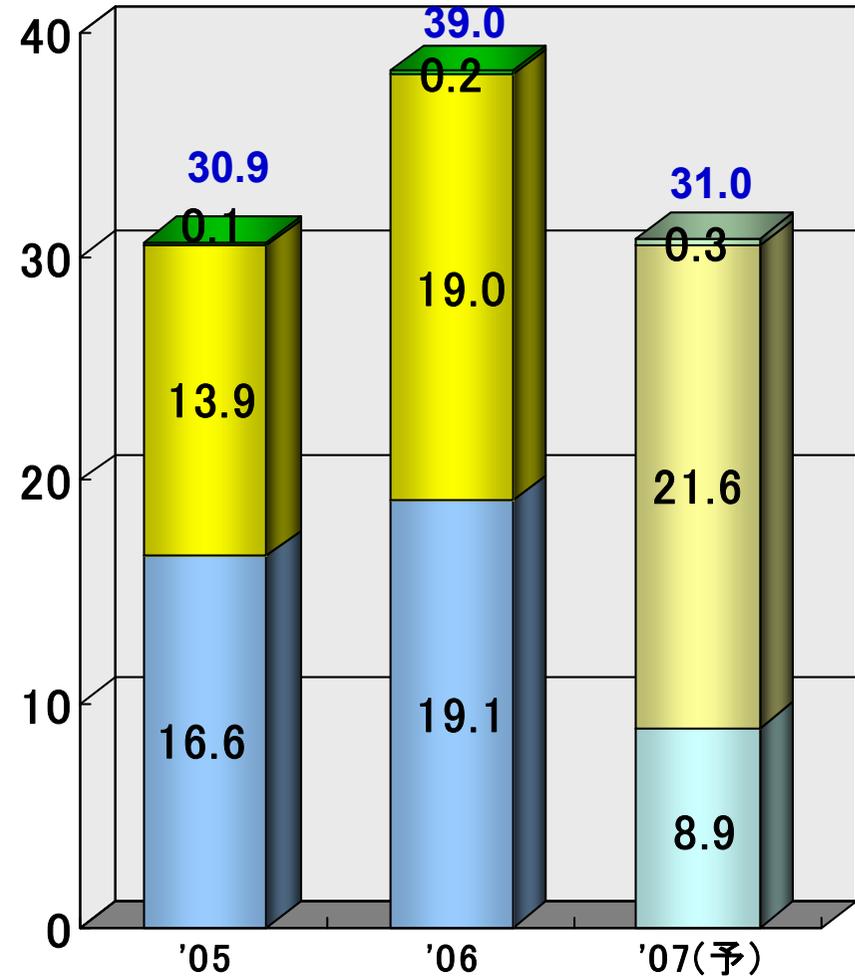
(億円)

《売上高》



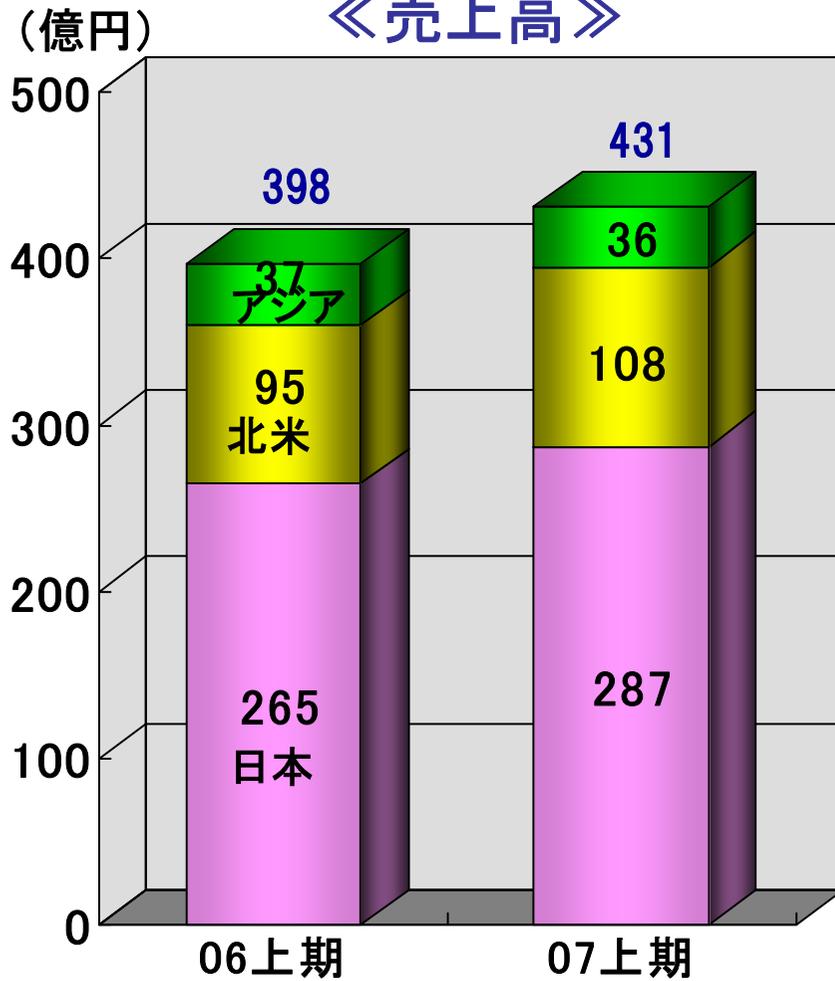
(億円)

《営業利益》

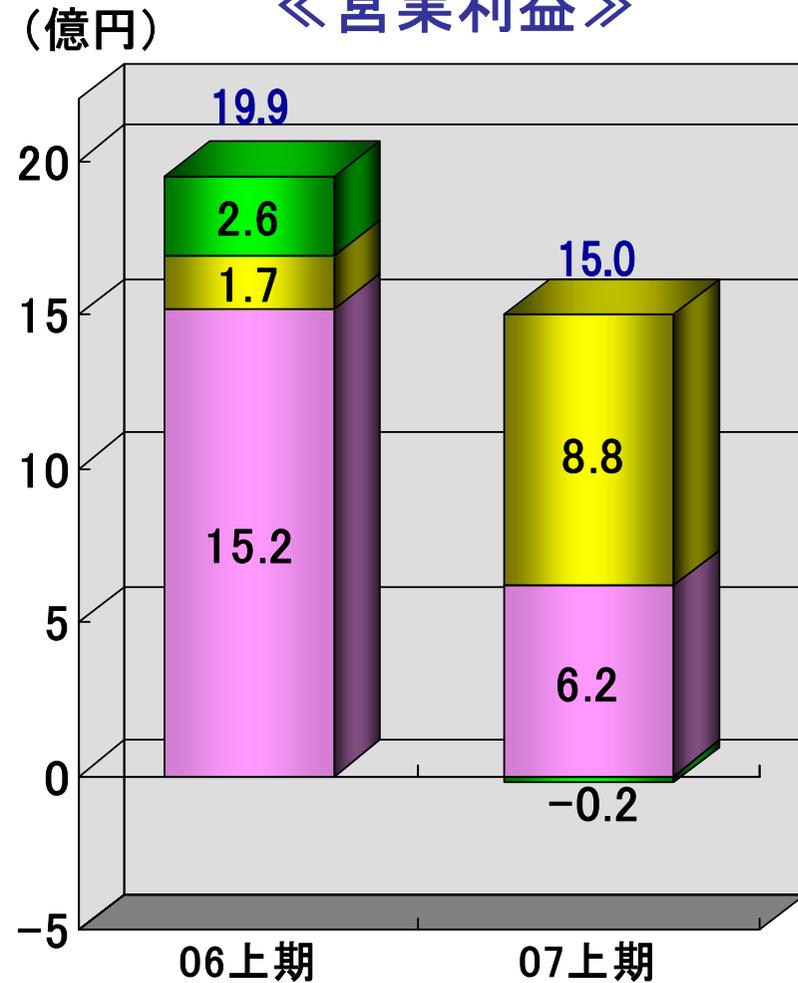


2-10 中間 連結地域別セグメント

《売上高》



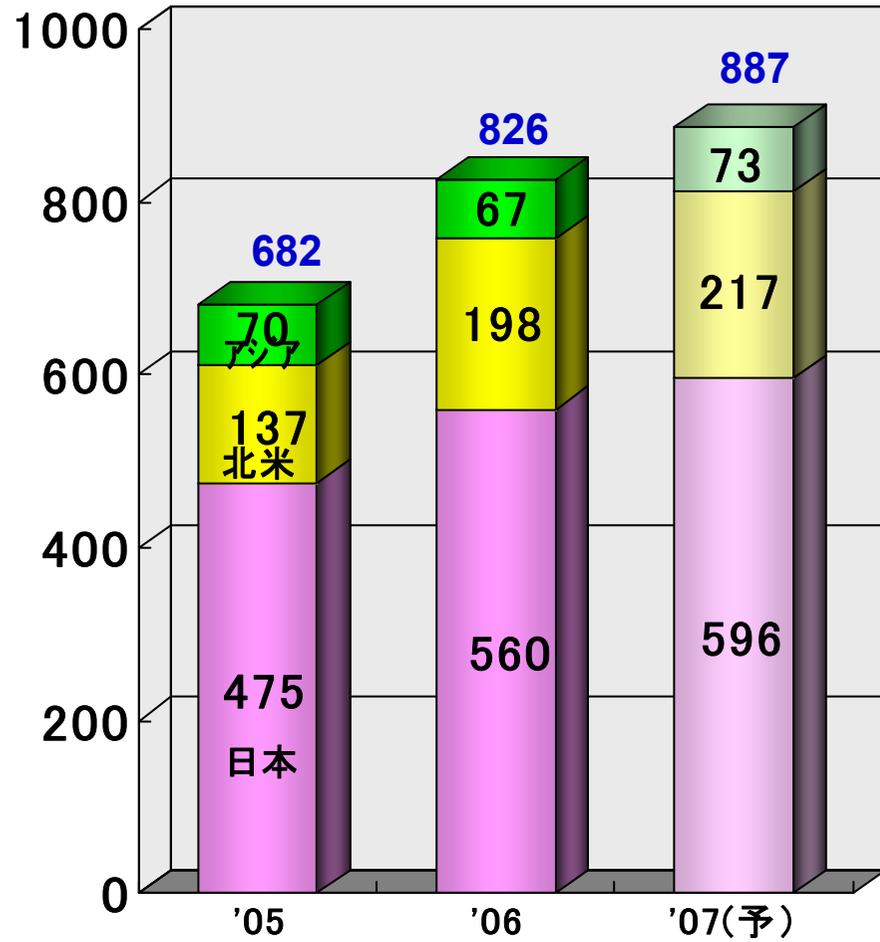
《営業利益》



2-11 通期 連結地域別セグメント

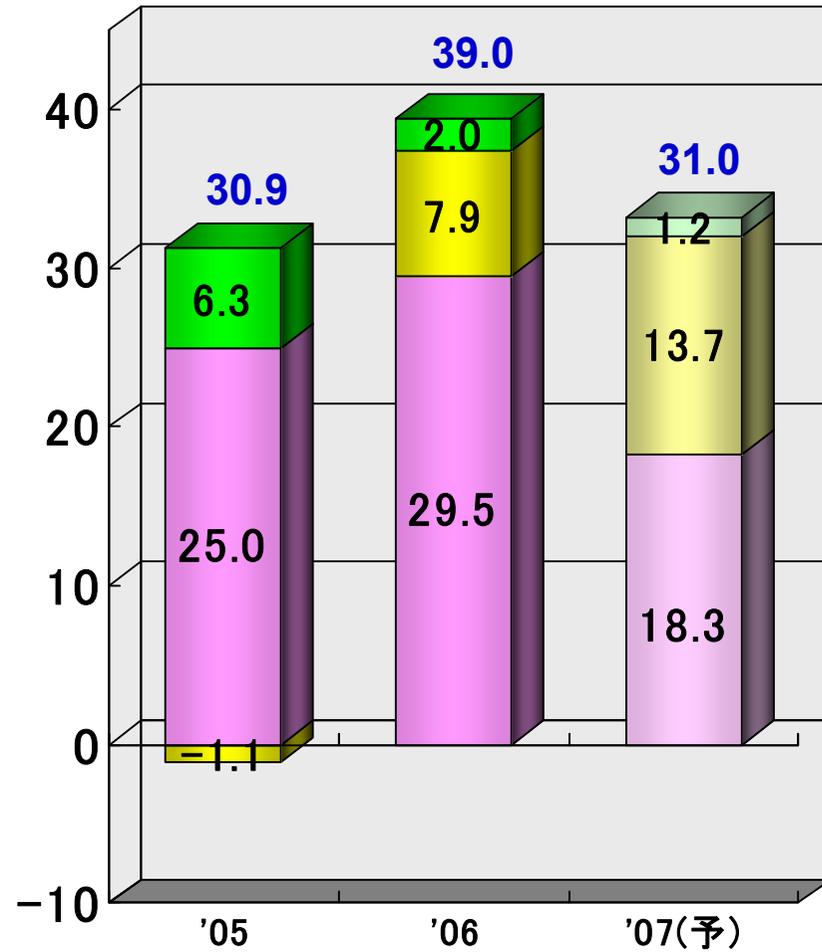
(億円)

《売上高》



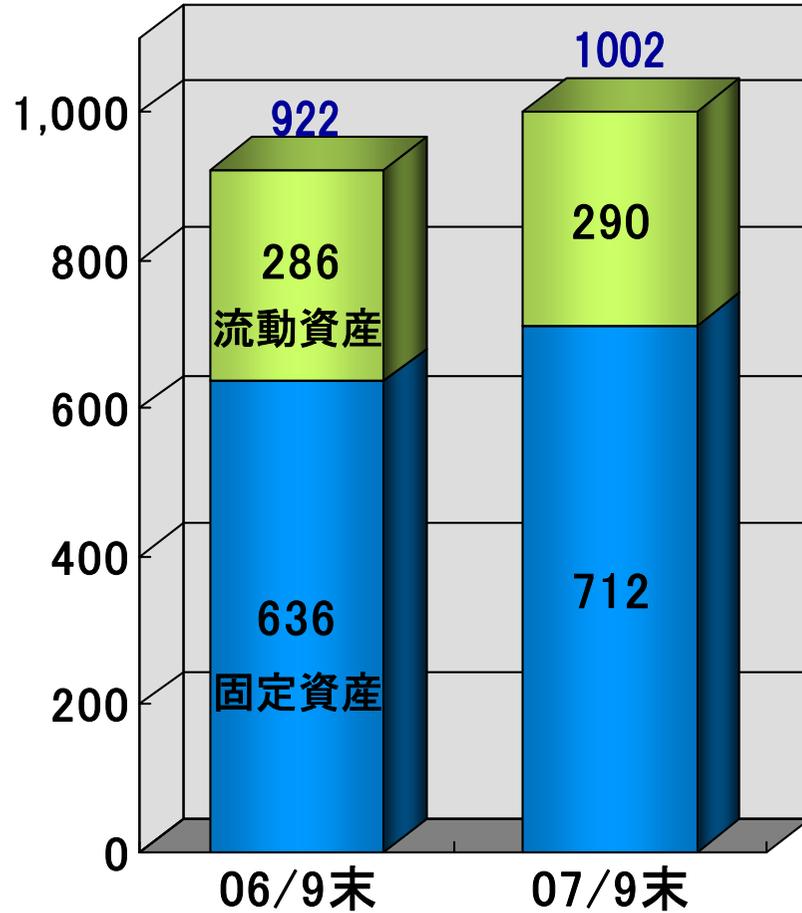
(億円)

《営業利益》



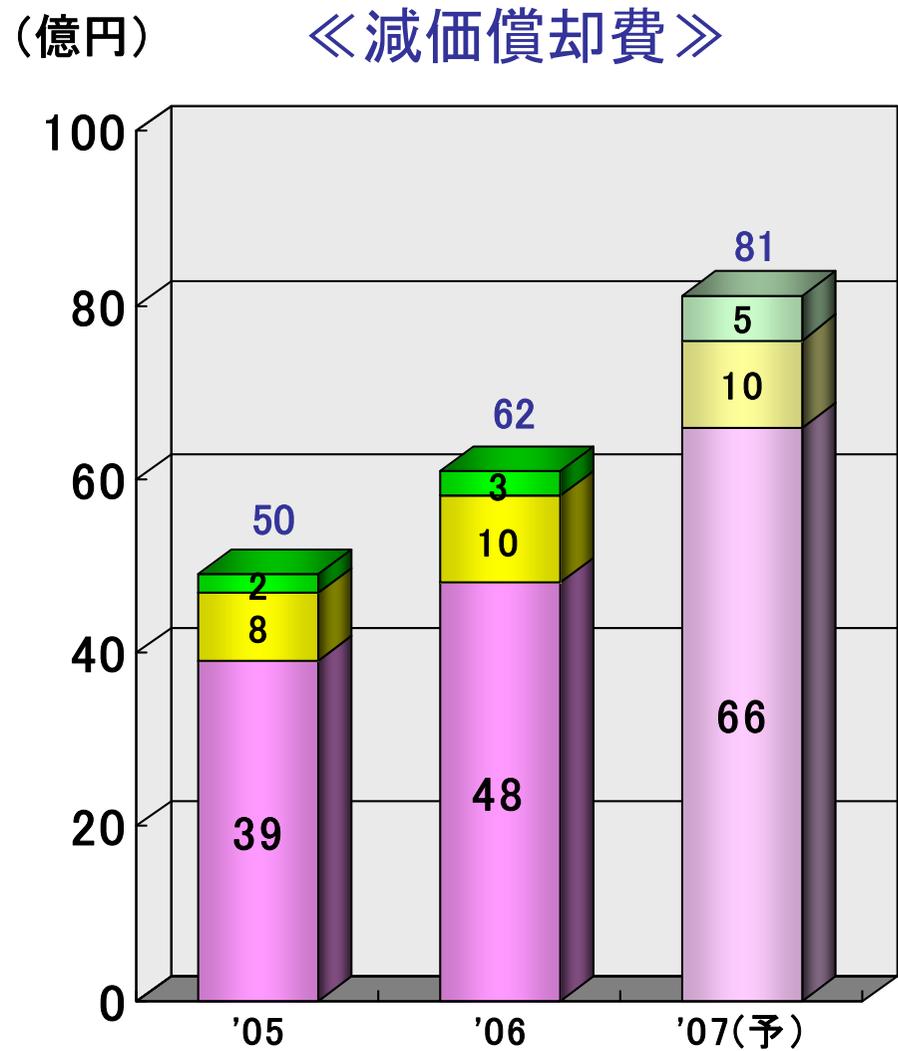
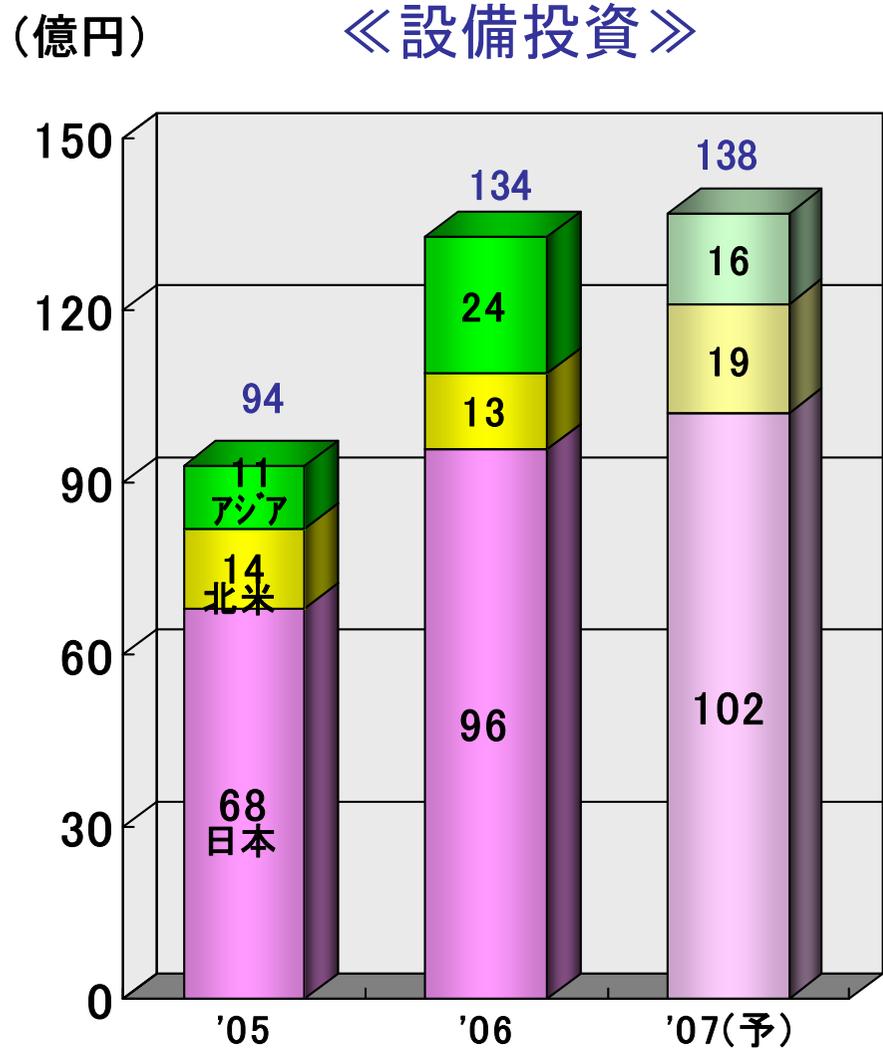
2-12 中間 連結総資産 増減内訳

(億円)

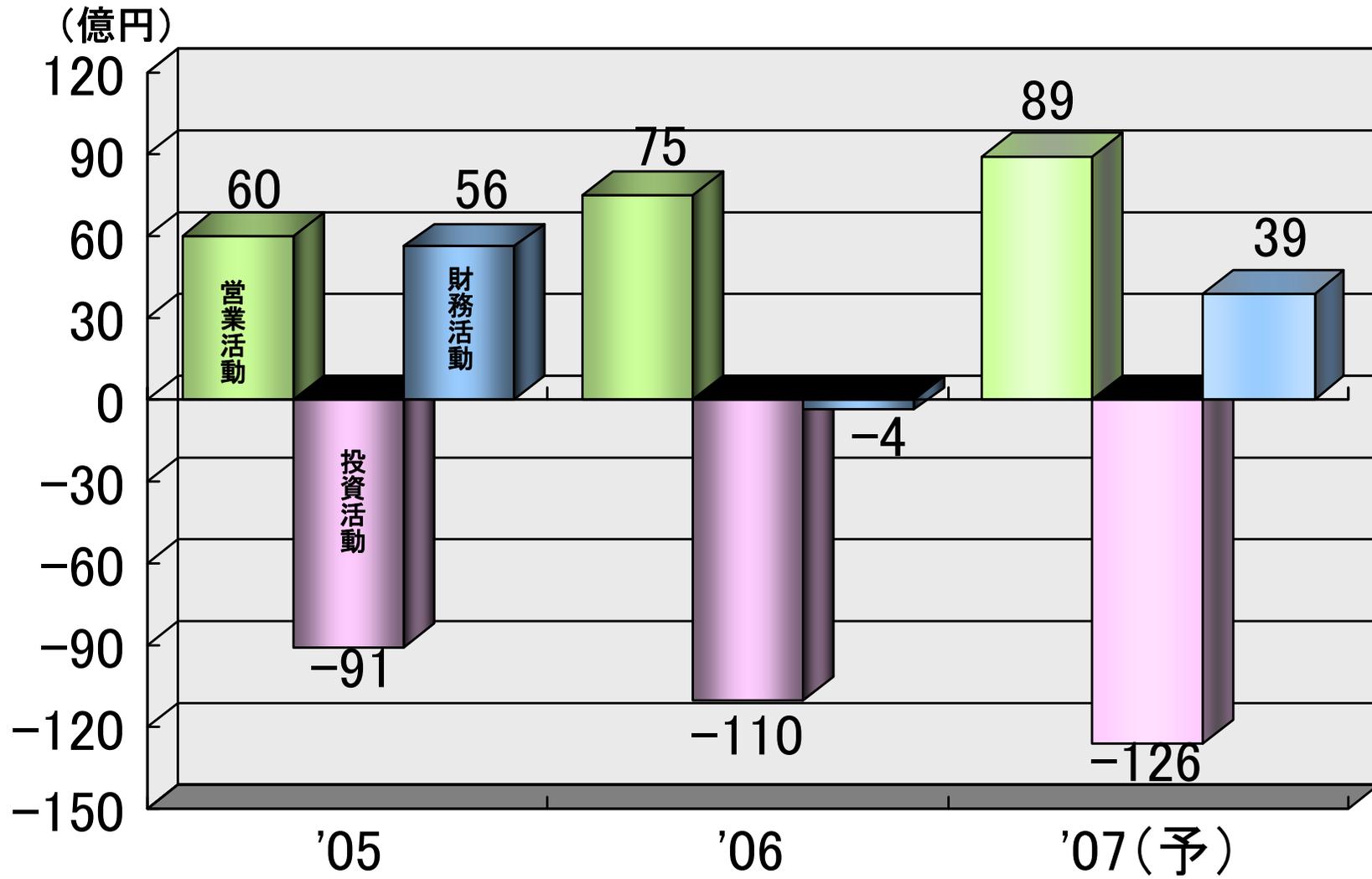


<p>■ 流動資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現金・預金 ・ たな卸資産 ・ その他 <p>■ 固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有形固定資産 ・ 無形固定資産 ・ 投資その他 	<p>+ 4 億円</p> <p>△ 1 5</p> <p>+ 1 2</p> <p>+ 7</p> <p>+ 7 6 億円</p> <p>+ 5 4</p> <p>△ 1</p> <p>+ 2 3</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>合 計 + 8 0 億円</p>
---	---

2-13 通期 連結設備投資・減価償却費



2-14 通期 連結キャッシュフロー



3-1 中期経営計画

2015年 長期ビジョン PACIFIC GLOBAL VISION 2015

2030年の創業100周年の一里塚として長期ビジョン「PACIFIC GLOBAL VISION 2015」を2004年策定

- ◆基幹事業としての自動車関連事業領域の拡大
- ◆事業構造変革(専門・機能部品、新規事業)

連結売上高	: 1,500億円
連結経常利益率	: 10%
海外比率	: 50%以上

2010年 中期経営計画 OCEAN-10

2010年度を目標とした5年間の中期経営計画「OCEAN-10」を2006年策定、2007年見直し

【OCEAN-10の7大戦略】 【トップクラスのグローバル部品メーカーを目指す】

◆技術と海外

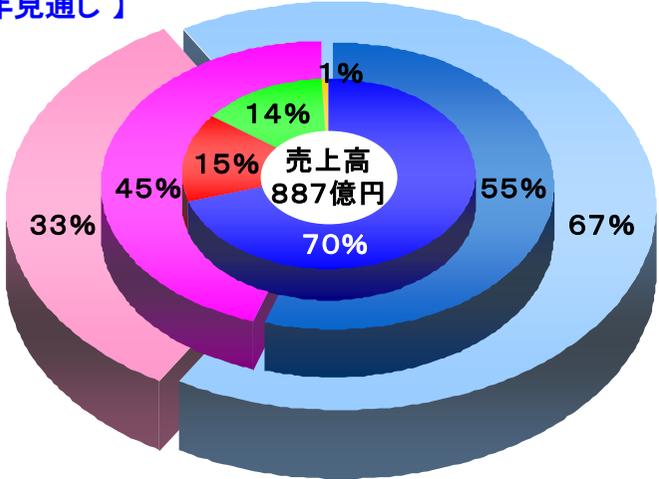
1. 技術ロードマップに基づく、TPMSに続く複合的な商品・生産技術の確立
2. CSR・環境保全に努め、グローバル展開に向けた既存・新規拠点の整備・拡充

◆ものづくりは人づくり

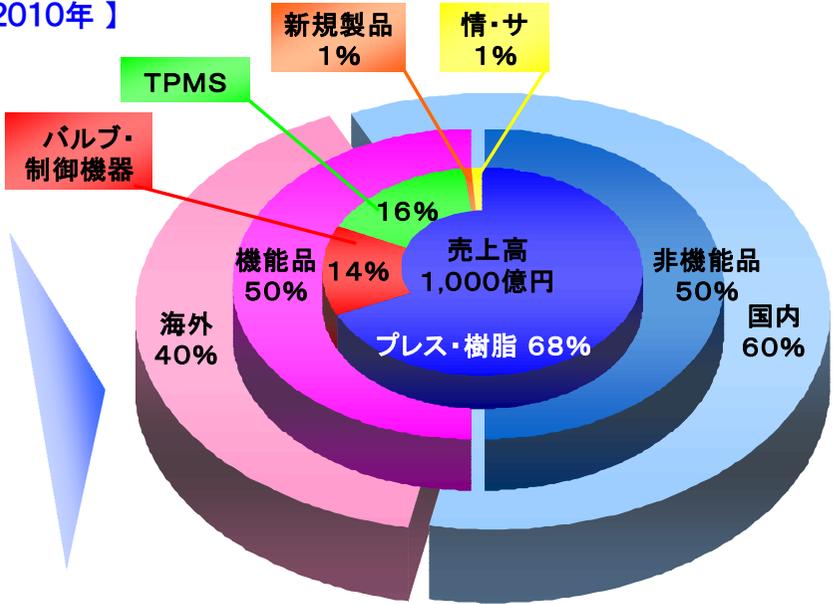
3. 投資・収益基盤を強化するための戦略的コスト活動
4. 超短期生準・垂直立上の実現
5. 顧客の絶対的信頼を勝ち取るための「危険ゼロ」「不良ゼロ」活動
6. 2015年Visionの実現を担うグローバル人財の育成
7. 資本の効率性を考慮した戦略的財務の確立

3-2 OCEAN-10の数値計画(売上高)

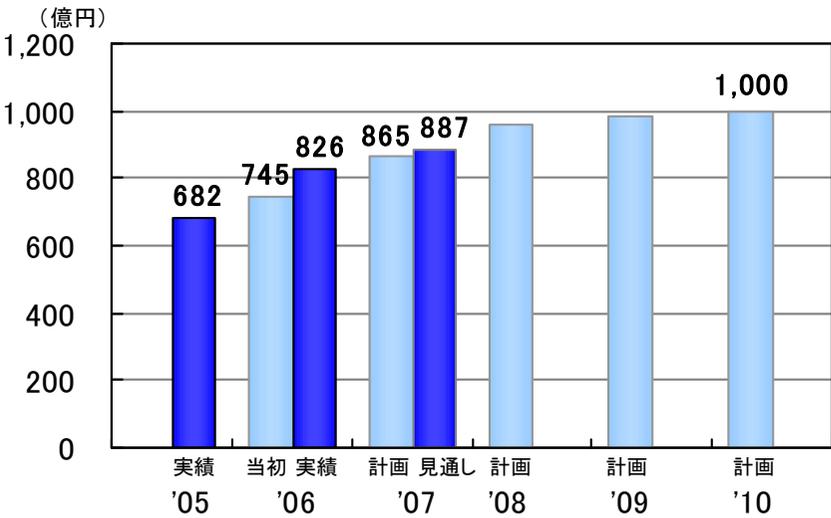
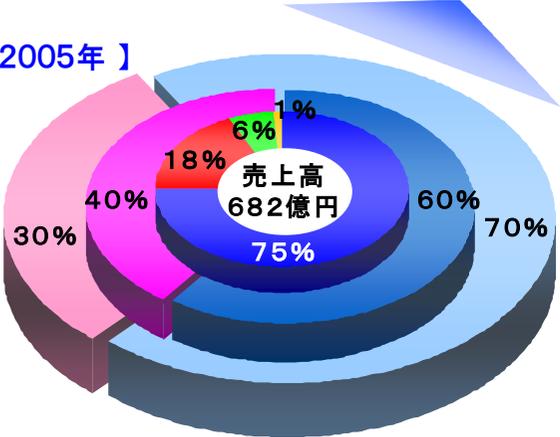
【2007年見通し】



【2010年】

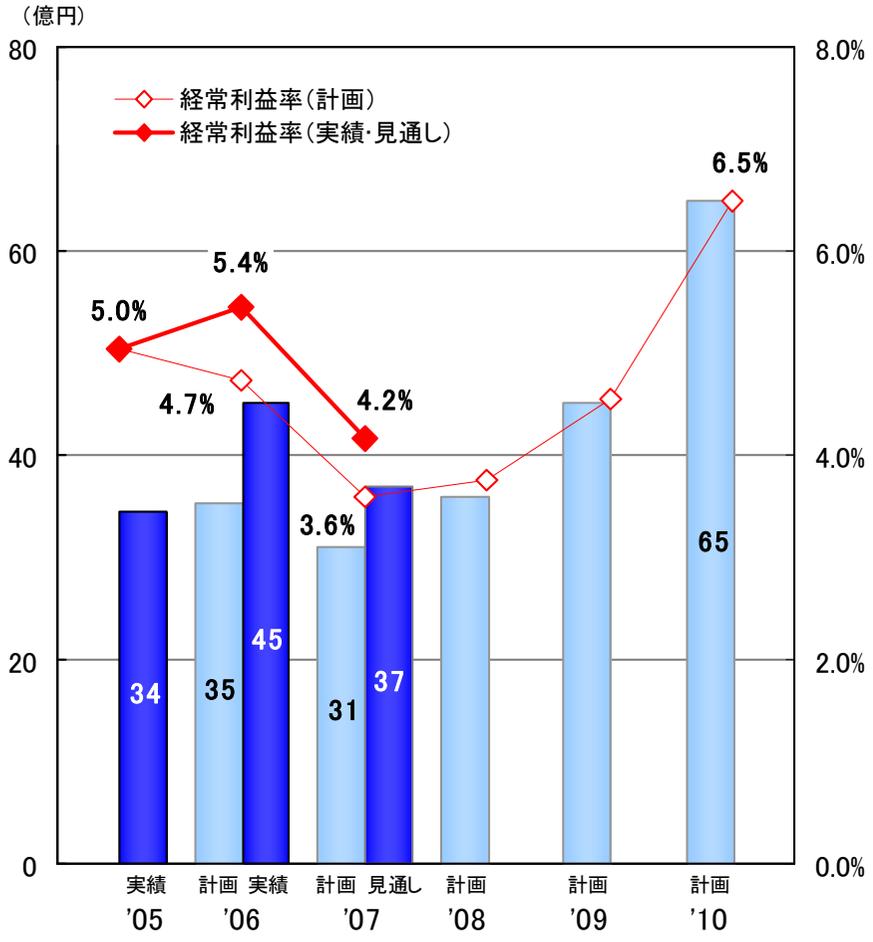


【2005年】

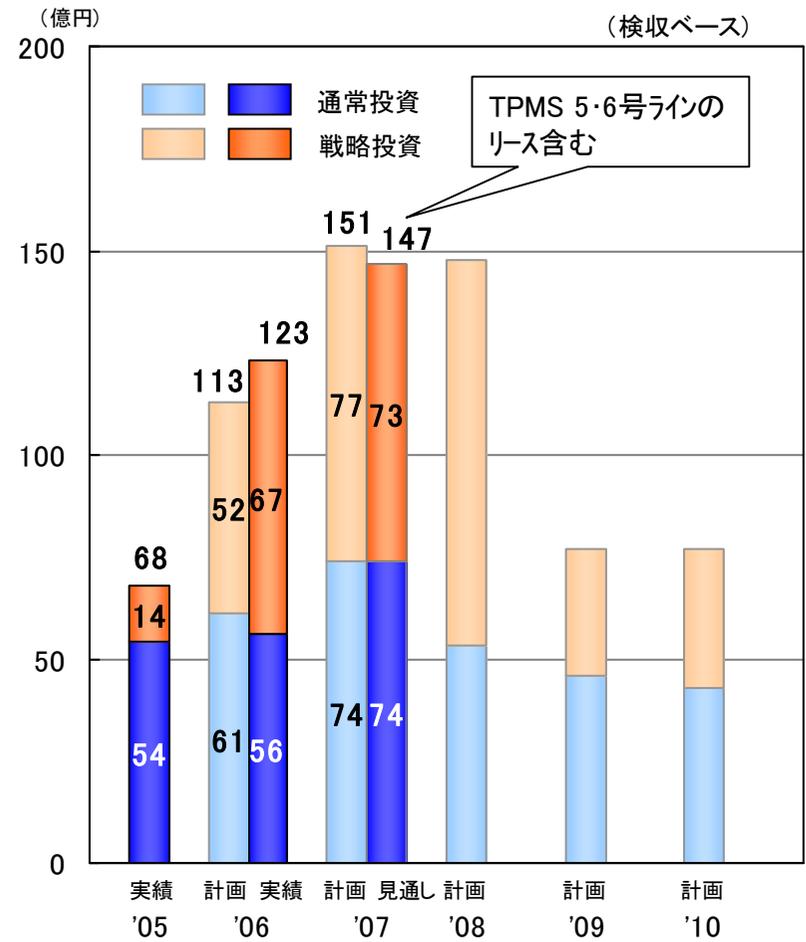


3-3 OCEAN-10の数値計画(利益・投資)

経常利益



設備投資



3-4 技術開発と拠点戦略



技術開発

項目		概要・ねらい
高精度プレス	鍛造のプレス化	<ul style="list-style-type: none"> ●高機能品(ギア・スプロケット)への適用 ●トライポロジィ・金型技術の向上
環境対応樹脂技術	樹脂・発泡加工	<ul style="list-style-type: none"> ●VOC対応 塗装・成形技術 ●防音・防振 発泡技術
ネットシェイプ	鍛造加工	<ul style="list-style-type: none"> ●切削加工の鍛造化 ●材料使用量低減によるコストダウン
TPMS	センサー技術 通信技術	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代TPMSの開発 ●北米の技術拠点を拡充
高圧シール技術	シール	<ul style="list-style-type: none"> ●新冷媒(CO2)対応技術・燃料電池(H2)対応技術

拠点戦略

拠点	事業	売上規模 ('06~'10)	投資規模 ('06~'08)	投資目的					
				'06	'07	'08	戦略	負荷適正化	
日本	東大垣 プレス	オイルパン	30	23		○	○	○	
		ボデー部品	30	28	○	○			○
	九州	プレス	30	26			○	○	○
		樹脂	10	8	○			○	○
	北大垣	高精度プレス	10	13	○	○	○	○	
TPMS		70	25	○	○	○	○	○	
海外	米国	プレス	10	7	○			○	○
		樹脂	10	10	○			○	
	中国	プレス	50	48	○	○	○	○	
	韓国	制御機器	15	14	○	○	○	○	

(億円)